

「2016年1月1日以降に当院で胸水検査を受けられた肺癌または胸膜中皮腫の患者さんへのお知らせ」

研究課題名：肺癌および胸膜中皮腫患者における胸水中炎症・栄養・免疫関連指標の臨床的意義に関する後方視的観察研究

国立病院機構山口宇部医療センター 臨床研究部、外科、呼吸器外科、腫瘍内科、および呼吸器内科では、院内倫理委員会の審査・承認を得て、2016年1月1日以降に当院で胸水検査を受けられ、肺癌または胸膜中皮腫と診断された患者さんを対象に、診療録情報を用いた後方視的観察研究を実施します。

肺癌および胸膜中皮腫では、病気の経過中に胸水がたまることがあります。近年、血液検査から算出されるC反応性タンパク/アルブミン比 (CAR) や好中球/リンパ球比 (NLR) は、悪性腫瘍における炎症・栄養・免疫状態を反映する指標として注目されています。一方で、胸水検査値から算出されるCARやNLRの臨床的意義は十分に明らかではありません。

本研究では、通常診療で得られた胸水検査値、血液検査結果、病理診断結果、治療内容、治療効果、予後情報などを用いて、胸水中の炎症・栄養・免疫関連指標が、肺癌または胸膜中皮腫患者さんの予後やがん薬物療法の治療効果と関連するかどうかを調べます。また、当院で既に承認を受けて実施された胸水中サイトカイン・可溶性免疫チェックポイント分子解析研究で得られた情報を利用する場合があります。

本研究のために、新たに血液、胸水、組織を採取することはありません。また、新たな画像検査、薬剤投与、治療介入を行うこともありません。研究に使用する情報からは、氏名、カルテ番号、生年月日など、患者さん個人を直接特定できる情報を除いたうえで解析を行います。研究結果を学会や論文等で発表する場合にも、患者さん個人が特定される情報を公表することはありません。

本研究は、当院研究費、公的研究費、または研究責任者が使用可能な研究費を用いて実施します。本研究に関連して企業等との利益相反が存在する場合には、当院研究利益相反審査委員会に申告し、適切に管理します。

ご質問がある方、この研究にご自分の診療情報を使用されることに「不同意」とされる方は、下記連絡先までご連絡ください。不同意の申し出があった場合には、速やかに研究対象から除外します。ただし、申し出の時点で既に解析が終了している場合、または研究結果として公表済みの場合には、対応できない場合があります。

お問い合わせ・連絡先

研究責任者 国立病院機構山口宇部医療センター 臨床研究部、外科 沖田 理貴

電話 0836-58-2300

FAX 0836-58-5219